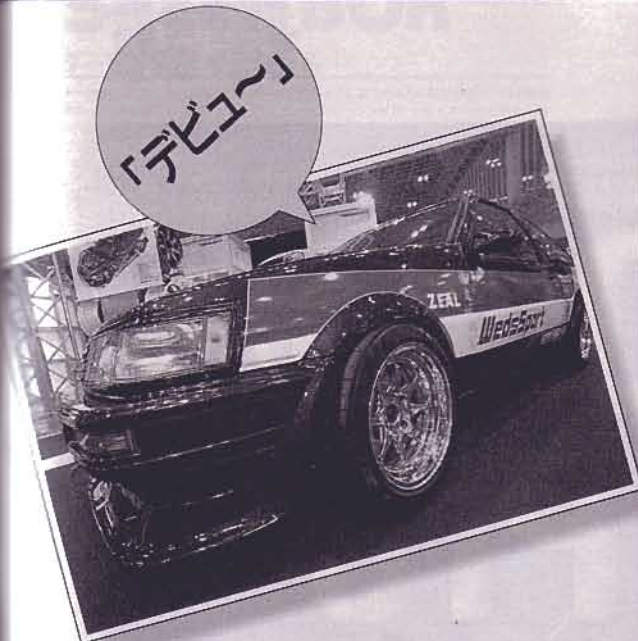


魅カピンピン! 伝説のSPORTSユニット

Gr.A ENGINE 再生計画

5 VALVE 4A-G編

by RACING PROJECT
BANDO H&C ARBO Y



サーキットより
ひと足お先に
ショーデビュー!

じっくり見られなかった人も行けなかった人も
「らしくなった」ハチロク、
見てくださ〜い



エンジン



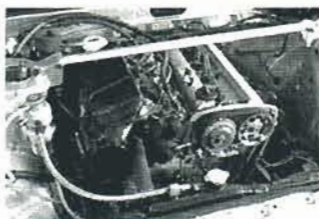
▲クラッチマスターはギリギリで逃げられるが、ブレーキのマスターバック付きだと当たりそう。このへんの形状変更が必要。



▲エア抜きタンクもいつの間にか装着。タンクはラジエターキャップより高い位置に付けないとダメなのでブラケットを製作。



▲サード製のレギュレーターの横に見えるのはボッシュのストレーナー。燃料ポンプは安全タンク内に取り付けられている。



▲すでに走行可能なエンジンだけど、サージタンクまわりはまだ未完成。タンクからエアクリナーまでの取りまわしを検討中。

ボディ



▲N2ちっくなフロントスポイラーも装着済み。エバナ製。ハチロク用フロントスポイラーもいろいろあるけどN2用はカッコいいわ。



▲ネットオークションでゲットした張り付けタイプのオーバーフェンダー。フロントはこれに合わせてワンオフで製作する予定。



▲フロントはキャンパー次第でどうにか収まる? けどリヤは完全アウト。マサ号はオーバーフェンダーを取り付けて対応。



▲オートサロンでも好評のMA86。オーダーがたくさん入っているらしい。奥に見えるのはエンドレスキャリアー&ローター。

室内



▲シートはマサくん愛用のブリッド。運転席側はジータIIIのカーボン。助手席は同じくジータIIIでFRP製。ロールもブリッド製。



▲ダッシュパネルは坂東オリジナルのドライカーボン製。モーテックのダッシュロガーのみ付いている。で、打倒TRDってナニ?



▲シートベルトはタカク。リヤベルトは写真のように45度の角度でセット。これが正しい装着法。アンカーはノーマルの穴を使用。

▼漢字が好きな坂東親子。ムスコはこうきました。正敬(まさたか)会だそう。特攻服風のレーシングスーツを作る予定?



▲フロントグリルに付いていたのが坂東商会の最終兵器、肩毛付きバンダです。これだけで5馬力アップとメカニックは話してました。

マ サ号が1月に開催された東京オートサロンに展示されました。そーいや、だいたいのところまではできあがっていたんで、あと細かいところをチョコチョコ仕上げれば、十分見られるようになるよ。しかし、本格走行をする前にチャラチャラとショーなんか出ちゃって……え? ウェッズのブースで、この前作ったハチロク用の鍛造ホイールMA86の展示ってことか。それならしょうがない。許しましょう。でもまあ、シヨウ仕様とはいえず、細部まで仕上げたんなら、チョイとそのへんを見せてもらいましょう。まず、エンジンルームだけど、ここで目立つのはサージタンク。シロート考ではファンネルむき出しでも吸気効率は十分に良さそう

だけど、実際のところ、スロットル手前に空気がだまりがあったほうが、より吸気効率はアップ。とくに吸い込む力があまり強くない低中速域での吸入効率に違いが出るという。で、マサ号はサーキット仕様。サーキットといえど回転が落ち込むところもあるんで、全開域だけ元気なことじゃダメなのよ。このサージタンク、ストリート用に形状を変えたものを作ろうとしているけど、マスターバック対応の形状や、4スロロマニによっては下から伸びることになるスロットルワイヤーの取りまわしをどう逃げるか? など問題がけっこうあるので、市販化はもうちょっと先だね。

あとはホイール。MA86はオーバーフェンダー装着を前提にサイズ設定されているので、ノーマルフェンダーでははみ出ます。ハチロク用のオーバーフェンダーという、フェンダーアーチ部分に取り付ける旧車タイプが主流だけど、マサはプリスタータイプを選択。2月末にはできあがる予定なので、早ければ来月号でワイドボディのハチロクが見せられるかも。で、ワイドボディになればトレッドも広がるし、太いタイヤも履けるし……シビック対策ですね。